

# 集合と位相

nukui

2016 年 10 月 6 日

## 第 I 部

## 集合と写像

### 1 集合とは

#### 1.1

1. 成り立つ。  $\because Y$  に含まれる要素は全て  $X$  に含まれる。
2. 成り立つ。  $\because 3$  は  $W$  に含まれるが  $Z$  に含まれない。
3. 成り立つ。  $\because 4$  は  $V$  に含まれるが、 $Y$  に含まれない。
4. 成り立たない。  $\because 4$  は  $V$  に含まれるが  $X$  には含まれない。
5. 成り立たない。  $\because 1$  は  $X$  に含まれるが  $W$  に含まれない。
6. 成り立たない。  $\because V$  の全ての要素は  $W$  に含まれる。
7. 成り立つ。  $\because V$  の全ての要素は  $Z$  に含まれる。
8. 成り立つ。  $\because 3$  は  $X$  に含まれるが  $Z$  に含まれない。
9. 成り立たない。  $\because Y$  に含まれる全ての要素は  $Z$  に含まれる。
10. 成り立たない。  $\because 3$  は  $W$  に含まれるが  $Y$  には含まれない。

#### 1.2

1.  $D$
2.  $B$
3.  $C, E, F$
4.  $B, D$

#### 1.3

1. 成り立たない。
2. 成り立つ。
3. 成り立つ。
4. 成り立つ。
5. 成り立たない。
6. 成り立つ。

## 1.4

集合  $A$  が 1 個の元から成るとき、部分集合は  $A$  と  $\emptyset$  の 2 通り。よって  $n = 1$  のとき、命題は成り立つ。  
集合  $A$  が  $n$  個の元から成り、その部分集合は全部で  $2^n$  個から成るとする。今、集合  $A$  に元  $X$  を一つ加え、 $n+1$  個の元から成る集合  $B$  を考える。集合  $B$  の部分集合は、

1. 集合  $A$  の部分集合と一致。( $2^n$  個)
2. 集合  $A$  の部分集合に元  $X$  を加えたものに一致。( $2^n$  個)

のいずれかである。よって、集合  $B$  の部分集合の個数は  $2^n + 2^n = 2^{n+1}$  個になる。以上より、すべての自然数  $n$  で命題は成り立つ。

## 2 集合の演算

### 2.1

意味を考えれば、確かに成り立つことがわかる。

### 2.2

1.

$$\begin{aligned}(A - B) \cup (A \cap B) &= \{x | x \in (A - B) \text{ または } x \in (A \cap B)\} \\ &= \{x | (x \in A \text{ かつ } x \notin B) \text{ または } (x \in A \text{ かつ } x \in B)\} \\ &= \{x | x \in A \text{ かつ } (x \notin B \text{ または } x \in B)\} \\ &= \{x | x \in A\} \\ &= A\end{aligned}$$

2.

$$\begin{aligned}(A - B) \cup B &= \{x | x \in (A - B) \text{ または } x \in B\} \\ &= \{x | (x \in A \text{ かつ } x \notin B) \text{ または } x \in B\} \\ &= \{x | (x \in A \text{ または } x \in B) \text{ かつ } (x \notin B \text{ または } x \in B)\} \\ &= \{x | (x \in A \text{ または } x \in B)\} \\ &= A \cup B\end{aligned}$$

3.

$$\begin{aligned}B \cap (A - B) &= \{x | x \in B \text{ かつ } x \in (A - B)\} \\ &= \{x | x \in B \text{ かつ } (x \in A \text{ かつ } x \notin B)\} \\ &= \emptyset\end{aligned}$$

### 2.3

1.  $A_1 \subset A$  を仮定する。

$$x \in A_1 \text{ かつ } x \notin B \implies x \in A \text{ かつ } x \notin B$$

なので、 $x \in A_1 - B$  とすると、 $x \in A - B$  が示せる。つまり、 $A_1 - B \subset A - B$ 。

2.  $B_1 \subset B$  を仮定する。

$$x \in A \text{ かつ } x \notin B \implies x \in A \text{ かつ } x \notin B_1$$

なので、 $x \in A - B$  とすると、 $x \in A - B_1$  が示せる。つまり、 $A - B \subset A - B_1$ 。

2.4

$$\begin{aligned} A - B &= \{x | x \in A \text{ かつ } x \notin B\} \\ &= \{x | x \in A \text{ かつ } (x \notin A \text{ または } x \notin B)\} \\ &= \{x | x \in A \text{ かつ } x \notin A \cap B\} \end{aligned}$$

$$A = \{x | x \in A\}$$

なので、

$$A - B = A \iff A - B \supset A \iff A \cap B = \emptyset$$